

一 後の問いに答えなさい。(二十点)

問 次の①②③にそれぞれ適切なひらがな二字を入れて、慣用句を完成させなさい。

- ① 君は猫を① ① っている。
- ② 手に② ② をにぎる展開だ。
- ③ さつきから③ ③ の空になっているぞ。

問 次の④⑤⑥の文は、ある特定の状況じょうきょうを説明しています。それぞれの状況を表した四字熟語の空欄くわうちんに、適切な漢字一字を入れなさい。

- ④ ある生徒は、授業中にまったく集中を切らさず、先生の話をしっかりと聞き続けました。 ↓ □□不乱
- ⑤ 試合の最中、彼女はどんな緊迫きんぱくした場面でもあわてずプレーを続けました。 ↓ □静沈□
- ⑥ メンバー全員が力を合わせ、課題の解決に向けて取り組みました。 ↓ □致□結

問 次の文章を読んで、⑦⑧⑨に当てはまる部首名を、ひらがなで一つ答えなさい。

漢字は、いくつかの部分に分けて作られています。特に「部首」と呼ばれる部分は、漢字の意味や使われ方に大きな影響えいきやうをあたえることが多くあります。たとえば、「⑦」という部首は水に関連するものを表す漢字に多くふくまれており、「⑧」は人に関する漢字、「きへん」や「⑨」は植物に関係する漢字、「てへん」は手の動作に関わる漢字に使われます。これらの部首は、漢字の意味を予想する手がかりとなるだけでなく、漢字の成り立ちや歴史を知る手助けにもなります。

問 次に挙げるのは、AさんからBさんに宛てた手紙と手紙の書き方に関する文章です。⑩⑪⑫に入る言葉として最も適切なものを、後のア～キの中から一つずつ選び、記号で答えなさい。

お元気で過ごしたことと存じます。先日は温かいおもてなしをいただき、誠にありがとうございました。おかげさまで楽しい時間を過ごすことができました。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

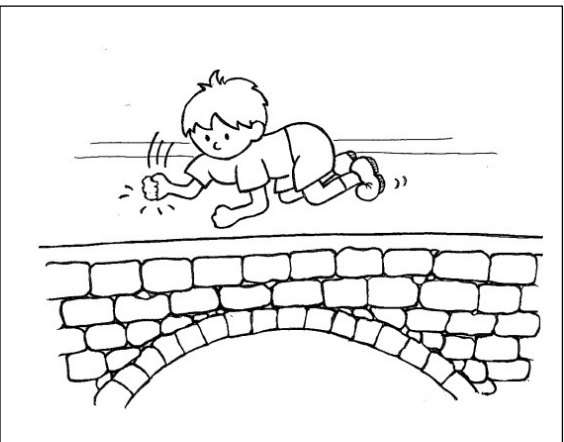
このように用件のみを伝えるのであれば、手紙のはじめに⑩、それに対応させる形で終わりに「草々」と書きます。これに時候の挨拶あいさつ(「立春の候」や「陽射しも春めいてまいりました」などの季節の挨拶)を入れて、より丁寧な文面にするのであれば、手紙のはじめに⑪、それに対応させる形で終わりに⑫と置くのが一般的です。

- ア 拝啓
- イ 賀正
- ウ 前略
- エ 中略
- オ 御中
- カ 敬具
- キ 以上

問 次の俳句を読み、季語とその季語が表す季節を答えなさい。

- ⑬ さくら咲けほめられもせず咲いている
小林一茶
- ⑭ 初しぐれ馬の尻尾も濡れにけり
松尾芭蕉
- ⑮ 朝顔や一輪深き淵の色
与謝蕪村

問 次のイラストが表す最も適したことをわざを解答欄⑯に答え、解答欄⑰にその意味を答えなさい。



問 私たちが日ごろ使用している言葉の中には「外来語」が多くあります。次の例に従い、文中の「日本語」を三か所「外来語」にして解答欄⑱～㉔に答えなさい。

〔例〕 君の助言は役に立った。 〔答〕 助言 ↓ アドバイス

君の発想はとても独特だが、つくるとなると費用が多くかかりそうだ。

二

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(設問の都合上、本文の表記を一部変更しているところがあります。)(五十点)

(森田真生^{もりたまさお}「僕たちの「センス・オブ・ワンダー」」より)

著作権許諾申請中

問一 a s d のカタカナを漢字に直しなさい。

問二 A E に入る適切な言葉を、次の中からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。ただし、同じものを二回以上使ってはいけません。

ア まるで イ やがて ウ はたと エ いまにも オ さすがに カ すでに

問三 ——線部①とありますが、庭の木々を「何気ないただの木でしかないと思っていた」のは、筆者がどのような状態にあったからですか。そのことが述べられている部分を本文中から五十字以内でぬき出し、初めと終わりのそれぞれ五字で答えなさい。

問四 ——線部②とありますが、日常生活の中であなたが『うつくしい』と『かなしい』の近さを感じた経験を答えなさい。

問五 ——線部③とありますが、この時の「息子」を筆者はどのように見ていますか。その説明として最も適切なものを、次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 死をむかえて動から静へと変化したカミキリムシを目の当たりにして、大きな衝撃を受けたまま自分の心がまだ整理できないでいる。
イ カミキリムシの死を避けることのできないものとして覚悟してはいたが、実際にその瞬間に立ち会おうと受け入れられないでいる。
ウ 急に動かなくなったカミキリムシを見て死の中にひそんでいる不浄さを感じ、自分の手で直接ふれることを拒絶しようとしている。
エ 静かな死をむかえたカミキリムシの美しさに心動かされ、その状態を保ってやるにはどうすればよいのかを考えようとしている。
オ 死んで間もないカミキリムシをすぐに処理してしまおうとする発言に対して、子どもなりに精一杯の抵抗をしようとしている。

問六 ——線部④とはどういうことを言っているのですか。わかりやすく説明しなさい。

問七 — 線部⑤とありますが、筆者は『化け物』に遭遇することについて、どのように考えていますか。その説明として最も適切なものを、次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア かつては自然界に存在していた、理屈では説明できない神秘が消滅しつつある現状をふまえれば、科学の発展は人間にとって有益ではない。

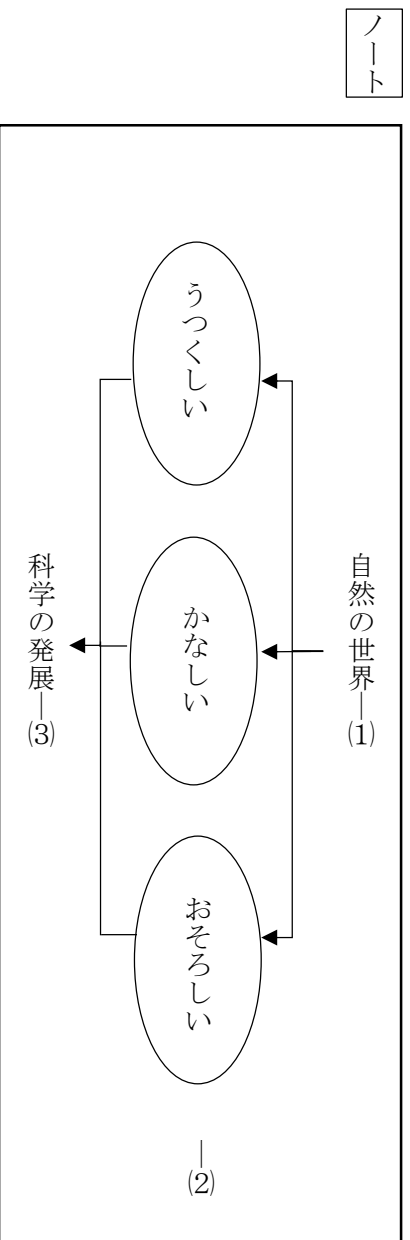
イ 子どもたちにとって知的な好奇心をくすぐるような体験であり、このような体験の積み重ねがすぐれた科学者を誕生させるに違い

ウ 生や死にしっかりと向き合い、自身と外界との好ましい関係を築くことのできる豊かな心を育む上でも、子どもにとっては大切なことである。

エ 科学的知識にとぼしく事物を感覚的に理解しようとする段階では興味をいだくものの、論理的思考の形成に従って関心を示さなくなってしまう。

オ 直接的な体験が不可能な領域を発見すること自体重要なことであり、それについて様々な角度から思考することによって、科学は進歩する。

問八 ○○さんは本文を読んだ後、次のようにノートにまとめ、それについて説明しました。これを読んで、後の問いに答えなさい。



説明

・(1)は人間の力、特に知恵や知識がおよばないもので、私たちにとってはいわば神秘の世界です。そんな世界は決してなくなることはありません。

・(2)は自然の中にある三つの領域を表しています。それぞれに独立しているこの三つを意識することで、一つの神秘は理解可能なものになります。

・(3)は神秘の世界をしっかりと受け止めることから始まります。神秘を解き明かすのが科学なのですが、(1)で述べたように神秘は数知れずあるのですから、私たちが自然に向き合う姿勢さえ忘れなければ、科学は発展し続けるはず

問 ○○さんのノートおよび説明には誤りがふくまれています。

I 説明の中のどの部分が誤りですか。その部分をぬき出して答えなさい。

II Iの部分を正しく改めたノートを作成しなさい。



次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(五十点)

(木内昇『かたばみ』より)

著作権許諾申請中

問一 a e のカタカナを漢字に直しなさい。

問二 — 線部①とありますが、生徒たちのこのような様子を、梯子はどのように理解することになりますか。解答欄の形式に合わせて説明しなさい。

問三 — 線部②とありますが、この部分についての説明として最も適切なものを、次の中から一つ選び、記号で答えなさい。
 ア 「そう悟った」の内容は、梯子が自分たちの世代はめぐまれていたことに気づいたということである。
 イ 「悟った途端」からは、教員として生徒の様子を落ちついて観察し、それを行動に移せる梯子の性格がうかがえる。
 ウ 「はいっ」には、生徒たちの注目を集めた上で、これまでの状況を一变させようとする梯子の強い意志が表れている。
 エ 「走り方やめえー」には、指示された通りに走ろうとしない生徒たちに対する梯子の怒りの感情が表現されている。
 オ 「大声でさけんでいた」は、生徒たちに対して理屈ではなく本能的に指示を出している梯子の状態を表している。

問四 — 線部③とありますが、梯子はなぜこのようなことをさせているのですか、説明しなさい。

問五 — 線部④とありますが、この部分からうかがえる「教頭」の考え方を説明しなさい。

問六 — 線部⑤とありますが、この言葉からうかがえる梯子の内面を説明しなさい。

問七 本文を読んだ後、先生と生徒が次のような会話をしました。これを読んで、後の問いに答えなさい。
 生徒 この小説には、「空」を見上げる描写がたくさん登場していましたね。
 先生 そうですね。この小説では「空」は読解のための一つの鍵になっていると言えそうです。次の文章を読んでみると、そのことがよりよくわかると思いますよ。吉川先生が小学校を退職する際、梯子と話をしている場面です。

著作権許諾申請中

先生 この部分に出てくるのは「天」です。では、「空」と「天」を比較してみましょう。

生徒 「天」については「天からの差配」という表現があります。一方の「空」では子供たちが「空に向かってさけんでい」ました。

先生 そうですね。ということは「から」と「向かって」という視点の方向の問題になりそうです。

生徒 そうか。「天」と「空」の違いは、Iという点にあるんですね。

先生 その通りです。そう考えれば、本文の最後の吉川先生の行動、Xの意味も理解できそうですね。

生徒 なるほど。悌子と同じ思いを持っている吉川先生は、ここでも「天からの差配」を期待していたのでしょうか。

先生 そうですね。いずれにせよ、この小説において「空」と「天」の両者は登場人物たちをあたたく見守ってくれている存在だと言えそうですね。

(1) Iに入る言葉を、五十字以内で答えなさい。

(2) 本文中のXには吉川先生のある行動が入ります。それはどのような行動だと考えられますか、答えなさい。